

器39 医療用鉗子
一般医療機器 頭部手術用クランプ (35446000)

多目的ヘッドフレーム

【警告】

- クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) の患者、又はその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、最新の国内規制、ガイドラインを遵守すること。[二次感染の可能性があります]
- 頭蓋固定の際に、ヘッドピンを締め付け過ぎないこと。
ヘッドピンを用いて頭蓋を固定する際には、締め付け過ぎないように適切に固定すること。[頭蓋骨陥没の可能性があります]
- 頭皮牽引の際に、フレームの倒し過ぎによる視神経の圧迫等のないこと。頭皮牽引鉤針にて頭皮を牽引する際には、視神経の圧迫等がないように基礎フレーム上部のフレームを倒し過ぎないこと。[視力低下もしくは失明の可能性があります]
- 頭蓋骨の貫通・陥没の可能性
頭蓋骨の硬さには、個人差があります。スクリューピン(ヘッドピン) 刺入するときは、スクリューピン先端部が必要以上に頭蓋骨に入り、頭蓋骨の割れ・陥没・貫通、また、皮膚の裂傷等が起こらないように目視確認しながら注意してスクリューピンを刺入して下さい。また、側頭部(こめかみ部) 付近の頭蓋骨は薄いため、スクリューピン刺入による頭蓋骨割れ・陥没・貫通等の恐れがあります。側頭部へのスクリューピン刺入は避けてください。
[硬膜外血腫や脳挫傷等を引き起こす恐れがあります]

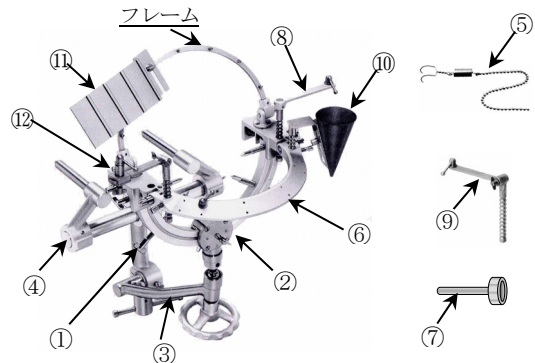
【禁忌・禁止】

- 併用禁忌 (併用しないこと)
弊社が指定した製品以外と併用しないこと。[設計・開発方針が異なるため適合しない恐れがあります]
- 化学薬品の使用禁止
本品を化学薬品に曝すことは避けること。[腐食による損傷の原因となります]
- 粗雑な取扱いの禁止
本品を変形あるいはキズをつける等の粗雑な取扱いはいししないこと。[器具器械の寿命を著しく低下させます]
- 磨き粉や金属ウールの使用禁止
洗浄の際、目の粗い磨き粉や、金属ウールで器具の表面を磨くことはしないこと。[本品表面に擦過傷を生じ、錆や腐食の原因となります]
- 酸性洗剤・家庭用洗剤の使用禁止
洗浄に使用する洗剤は医療用洗剤を使用し、酸性洗剤・家庭用洗剤は使用しないこと。[脱色や腐食の原因となります]
- ヘッドアームベース及びテーブルアタッチメントの空締め禁止
[変形の原因となります]

【形状・構造及び原理等】

形状、構造

組立時 (使用例)



No.	商品コード	商品名
① (注)	07-951-05	多目的ヘッドフレーム用ヘッドピンシャフト
②	07-951-20	ヘッドホルダー (ヘッドピンシャフト4本付)
③	07-952-00	M式頭部支持器 (頭受アーム)
④	07-952-01	ヘッドアームベース
⑤	07-954-00	スプリング頭皮牽引鉤針
⑥	07-981-02	基礎フレームセット II型
⑦	P07-980-04	基礎フレーム用ハンドル
⑧	07-981-03	C2. ハンドレスト
⑨	07-981-04	C1. ハンドレスト
⑩	07-981-06	手術器具保持ボックス
⑪	07-981-07	綿のせ皿
⑫	07-981-09	スライダ付 多目的用ハンドレスト

注: 多目的ヘッドフレーム用ディスプレイキャップ(07-951-06)は
(オプション) 欄参照

① 製造販売届出番号: 13B1X00306G00379

販売名: 多目的ヘッドフレーム用ヘッドピンシャフト

⑤ 製造販売届出番号: 13B1X00306G00717

販売名: スプリング頭皮牽引鉤針

原材料: ステンレス鋼 / アルミニウム合金 / 樹脂

<セット構成>

商品コード: 07-980-02

商品名: ヘッドフレームヘッドホルダーII型

No.	商品コード	商品名	個数
②	07-951-20	ヘッドホルダー (ヘッドピンシャフト4本付)	1組
③	07-952-00	M式頭部支持器 (頭受アーム)	1組
⑤	07-954-00	スプリング頭皮牽引鉤針	6個
⑥	07-981-02	基礎フレームセット II型	1組
⑦	P07-980-04	基礎フレーム用ハンドル	2個
⑧	07-981-03	C2. ハンドレスト	1組
⑨	07-981-04	C1. ハンドレスト	1組
⑩	07-981-06	手術器具保持ボックス	1組
⑪	07-981-07	綿のせ皿	1組
⑫	07-981-09	スライダ付 多目的用ハンドレスト	1組

商品コード：07-980-03

商 品 名：ヘッドホルダーセット

No.	商品コード	商品名	個数
②	07-951-20	ヘッドホルダー（ヘッドピンシャフト4本付）	1組
③	07-952-00	M式頭部支持器（頭受アーム）	1組

商品コード：07-980-06

商 品 名：ヘッドフレームセット

No.	商品コード	商品名	個数
⑤	07-954-00	スプリング頭皮牽引鉤針	6個
⑥	07-981-02	基礎フレームセット II型	1組
⑦	P07-980-04	基礎フレーム用ハンドル	2個
⑧	07-981-03	C 2. ハンドレスト	1個
⑨	07-981-04	C 1. ハンドレスト	1個
⑩	07-981-06	手術器具保持ボックス	1個
⑪	07-981-07	綿のせ皿	1個
⑫	07-981-09	スライダ付 多目的用ハンドレスト	1個

〈オプション〉別売

No.	商品コード	製造販売届出番号	販売名
※1	07-955-01	13B1X00306G00382	多目的ヘッドフレーム用 脳固定器スライド台
※2	07-981-10	13B1X00306G00386	クォーターフレーム

※1



※2



商品コード	製造販売承認番号	商品名
07-951-06	22000BZX00718000	多目的ヘッドフレーム用ディ スボキャップ 1袋4個入
07-951-07	22000BZX00718000	多目的ヘッドフレーム用ディ スボキャップ 4個入10袋



商品コード	商品名
07-951-25	ヘッドホルダーハウジング
07-952-05	テーブルアタッチメント 2080用
07-952-06	テーブルアタッチメント 3080用
07-952-06A	テーブルアタッチメント 3080用 外向き
07-987-07	MRホルダー付基礎フレームセットII型

【使用目的又は効果】

本品は、手術時に特定の固定位置に頭部及び頸部を固定するため頭蓋の保持に用いる手術器具をいう。通常、脳神経外科手術に用いる。

【使用方法等】

使用に際しては、関連製品の添付文書(多目的ヘッドフレーム、多目的ヘッドフレーム用ディスボキャップ)をご覧ください。
本品のご使用前には必ず点検を行い、洗浄、滅菌を行ってください。

【保守・点検に係る事項】をご参照ください。

使用方法の概要は下記の通りです。

- 手術台の頭部板を外してから、頭受けアームを手術台へ取り付けてネジ固定してください。
- ヘッドホルダーを頭受けアームに取り付け、床面に対して垂直かつ両端が水平となるように各関節を固定し、必ず各関節が固定されていることを確認してください。

○滅菌したヘッドピンシャフトに、多目的ヘッドフレーム用ディスボキャップ(別売)を取り付けてください。

○患者頭部を開頭後の到達路が最適となる位置で頭位を決め、専用のヘッドピンで患者頭部を固定してください。(下図参照)

○頭部の固定は下記①～④の手順で行ってください。(図1～4)

- ① 介助者が患者の頭を支え、滅菌したスクリューピン(ヘッドピン)で仮止めします。(図1-1)頭蓋骨の硬さには、個人差があります。仮止めするときには、スクリューピンの先端部を目視確認しながら注意して固定作業を行ってください。仮止め状態で患者頭部が、矢印A(図1-2)のように、スクリューピンを中心軸にして患者の頭が動くことを確認してください。

- 1) 矢印A(図1-2)のようにスクリューピンを中心軸にして患者の頭が動かない場合は、スクリューピンの締め過ぎです。スクリューピンを中心軸にして患者の頭が動くようになるまでスクリューピンを緩めてください。
- 2) 頭蓋が不安定で患者の頭が上下に動くような場合は、患者頭が上下に動かず、スクリューピンを中心軸にして患者の頭が動くようになるまで、目視確認しながら少しずつスクリューピンを締めてください。

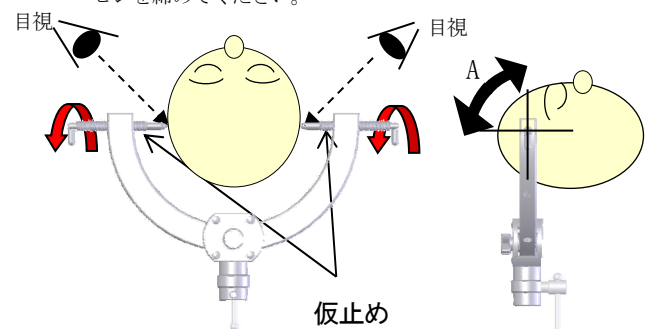
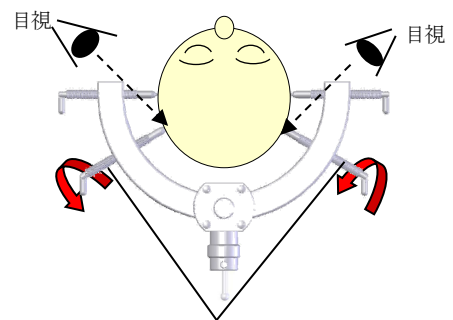


図1-1

図1-2

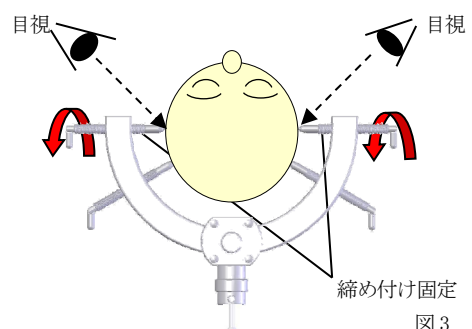
- ② スクリューピンの先端部を目視確認しながら、2箇所(矢印A)にスクリューピンを刺入して、スクリューピンを中心軸にした頭の動き(矢印A図1-2)を止め、頭部を支えるぐらいに締めてください。



目視確認しながら、刺入固定

図2

- ③ 最後に仮止めしていたスクリューピンを1/4～1/2程回転させ、更なる締め付けをしてください。(図3)スクリューピンによる過度の締め付けは、頭蓋骨の割れ・陥没・貫通、また、皮膚の裂傷等の恐れがあります。スクリューピンの締め付けは注意して行ってください。



締め付け固定

図3

- 手術の進行により、必要に応じて滅菌した基礎フレーム、脳筒固定器スライド台及び脳筒等を取り付けて使用してください。
- 手術の終了後は、速やかに洗浄・滅菌・乾燥を行い、適切な場所に保管してください。

＊＊【使用上の注意】

＊ 1. 重要な基本的注意

- (1) 本品は未滅菌品です。使用に際しては必ず洗浄し、適切に機能することが確認された標準的滅菌条件又は医療機関で滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件で滅菌を行い使用すること。
- (2) 頭蓋を固定するために頭位を設定する際には、十分に患者の気道が確保され、頰動脈によじれないことを確認すること。
- (3) ヘッドピンを用いて頭蓋を固定する際には、締め付け過ぎないように適切に固定を行うこと。
[頭蓋骨陥没の可能性があります]
- (4) 頭皮牽引釣針にて頭皮を牽引する際には、視神経の圧迫等がないように基礎フレーム上部の器具取り付けフレームを倒し過ぎないこと。
[視力低下もしくは失明の可能性があります]
- (5) 本品の使用にあたりこの添付文書並びにヘッドピン取扱注意書を事前に十分理解すること。また患者の安全に細心の注意をはらい、添付文書に従って使用すること。[重篤な不具合、有害事象が発現する可能性があります]

2. 不具合・有害事象

不具合事象

- ・保持力低下
- ・がたつき
- ・折損
- ・亀裂
- ・変形
- ・劣化

有害事象

- ・頭蓋骨の割れ・陥没・貫通・損傷
- ・皮膚の裂傷・損傷
- ・硬膜外血腫や脳挫傷等
- ・ディスポキャップ、破損片の頭蓋内遺残
- ・汚染

3. その他の注意事項

- (1) 手術台に装着する際には、手術台の頭部板を外してから取り付けること。手術台付属の頭部板との併用は行えません。
- (2) 頭蓋を固定する前には、全ての関節が確実に固定されていることを確認すること。
- (3) ヘッドピン固定の際には、頭蓋底部側を固定、頭頂部より浅く固定しないこと。
- (4) 手術中は、患者に異常のないことを常に監視すること。
- (5) 本製品を脳外科手術の頭部固定以外に使用しないこと。
- (6) 本製品を他の製品と混用しないこと。
- (7) 本製品は、ヨウ素系製剤による消毒は行わないこと。
- (8) 本製品は医師・看護師等医療従事者以外は使用しないこと。
- (9) 使用前には、必ず外観・組立・各関節部分の点検を行うこと。製品に変形や亀裂等が有る場合、もしくは各関節や摺動部分の動きに異常が認められる場合には使用を行わないこと。
- (10) 使用後は、必ず洗浄を行うこと。洗浄の際に洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤を用いること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

本品は高温・高湿を避け、温度や湿度が極端に変化しない場所に保管してください。

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：5年（自己認証）

＊＊【保守・点検に係る事項】

1. 使用前の点検事項

動作、機能チェックを実施する。

本品は、日常点検及び使用前点検により、正常に機能することを確認してください。

2. 使用後の点検事項

(1) 直ちに清水で洗浄する

- (1)-1 本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液に曝された場合には、直ちに清水で洗浄し中性酵素洗剤に浸漬してください。その後用手洗浄、超音波洗浄にて汚染物を除去してください。
- (1)-2 汚れの残存がある箇所はブラッシングによる物理的洗浄を追加してください。
- (1)-3 洗浄剤や消毒剤の使用にあたり、製造業者の取扱説明書に従い、希釈濃度、湿度、及び浸漬時間等については遵守ください。
- (1)-4 洗浄の際には柔らかい素材のタオル、プラスチック製ブラシ、ウォーターガンを使用してください。
- (1)-5 金属製のブラシや粗い研磨材を使用すること、過度の力を加えること、機器を落としたりぶつけること等がない様にしてください。
- (1)-6 洗浄水には完全脱イオン水（RO 水：Reverse Osmosis）を推奨します。
- (1)-7 仕上げすすぎは完全脱イオン水（RO 水）を使用してください。

※本品の洗浄・消毒はウォッシュャーディスインフェクタの併用を推奨します。

熱水消毒条件：90～93℃、5～10 分間（Ao 値：3000～12000）

（EN ISO15883-1 参照）

但し下記製品は、熱水消毒を行わないでください。

従って、熱水消毒工程を除いたプログラムにて洗浄を行うか、超音波洗浄機又はジェット洗浄機にて洗浄を行ってください。

商品コード	商品名
07-952-00	M式頭部支持器（頭受アーム）
07-952-05	テーブルアタッチメント 2080用
07-952-06	テーブルアタッチメント 3080用
07-952-06A	テーブルアタッチメント 3080用 外向き

(2) 洗浄後は直ぐに乾燥する

直ちに乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置することは避けてください。

(3) 蒸留水や完全脱イオン水（RO 水）を使用する

洗浄及び滅菌に使用する水は、蒸留水や完全脱イオン水（RO 水）をご使用ください。水道水中に含まれる残留塩素及び有機物質がシミや錆発生の原因となります。

(4) 水性潤滑防錆剤を使用する

洗浄後は潤滑油が完全に取り除かれています。摺動部があるものについては、かじりの原因となりますのでそのままで摺動部を動かさないで下さい。洗浄後滅菌する前に水性潤滑防錆剤「ミルクテック S」を塗布してから滅菌してください。

3. 滅菌

適切に機能することが確認された高圧蒸気滅菌器による標準的滅菌条件又は医療機関で滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件により滅菌を行ってください。

○洗浄適用表

		洗浄	
		中性	アルカリ
①	多目的ヘッドフレーム用ヘッドピンシャフト	○	○
②	ヘッドホルダー（ヘッドピンシャフト4本付）	○	×
③	M式頭部支持器（頭受アーム）	○	×
④	ヘッドアームベース	○	×
⑤	スプリング頭皮牽引釣針	○	×
⑥	基礎フレームセット II型	○	×
⑦	基礎フレーム用ハンドル	○	○
⑧	C 2. ハンドレスト	○	×
⑨	C 1. ハンドレスト	○	○
⑩	手術器具保持ボックス	○	×
⑪	綿のせ皿	○	○
⑫	スライダー付 多目的用ハンドレスト	○	○
-	テーブルアタッチメント 2080用	○	×
-	テーブルアタッチメント 3080用	○	×
-	ヘッドホルダーハウジング	○	×
-	MRホルダー付基礎フレームセットII型	○	×
-	テーブルアタッチメント 3080用 外向き	○	×

○：適用 ×：適用不可

○消毒適用表

		消毒	
		ヨウ素	アルコール系
①	多目的ヘッドフレーム用ヘッドピンシャフト	×	○
②	ヘッドホルダー（ヘッドピンシャフト4本付）	×	○
③	M式頭部支持器（頭受アーム）	×	○
④	ヘッドアームベース	×	○
⑤	スプリング頭皮牽引釣針	×	○
⑥	基礎フレームセット II型	×	○
⑦	基礎フレーム用ハンドル	×	○
⑧	C 2. ハンドレスト	×	○
⑨	C 1. ハンドレスト	×	○
⑩	手術器具保持ボックス	×	○
⑪	綿のせ皿	×	○
⑫	スライダー付 多目的用ハンドレスト	×	○
-	テーブルアタッチメント 2080用	×	○
-	テーブルアタッチメント 3080用	×	○
-	ヘッドホルダーハウジング	×	○
-	MRホルダー付基礎フレームセットII型	×	○
-	テーブルアタッチメント 3080用 外向き	×	○

○：適用 ×：適用不可

○滅菌適用表

		滅菌		
		高圧蒸気	EOG	プラズマ
①	多目的ヘッドフレーム用ヘッドピンシャフト	○	○	○
②	ヘッドホルダー（ヘッドピンシャフト4本付）	○	○	×
③	M式頭部支持器（頭受アーム）	×	○	×
④	ヘッドアームベース	○	○	×
⑤	スプリング頭皮牽引釣針	○	○	×
⑥	基礎フレームセット II型	○	○	×
⑦	基礎フレーム用ハンドル	○	○	○
⑧	C 2. ハンドレスト	○	○	×
⑨	C 1. ハンドレスト	○	○	○
⑩	手術器具保持ボックス	○	○	○
⑪	綿のせ皿	○	○	○
⑫	スライダー付 多目的用ハンドレスト	○	○	○
-	テーブルアタッチメント 2080用	×	○	×
-	テーブルアタッチメント 3080用	×	○	×
-	ヘッドホルダーハウジング	○	○	×
-	MRホルダー付基礎フレームセットII型	○	○	×
-	テーブルアタッチメント 3080用 外向き	×	○	×

○：適用 ×：適用不可

標準的滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌（日本薬局方）

滅菌温度	保持時間
115-118℃	30 分
121-124℃	15 分
126-129℃	10 分

クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又は疑いのある患者に使用した器具の滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌（ガイドライン参照）

滅菌温度	保持時間
134℃	18 分

**【主要文献及び文献請求先】

プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班・日本神経学会
 プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）

主要文献の問い合わせ先

ミズホ株式会社

TEL 03-3815-3096

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ミズホ株式会社

TEL 03-3815-3096

製造業者

ミズホ株式会社 五泉工場

【保証期間に係る事項】

本品は納品/設置してから1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。